

Q1. 株式会社和歌山リビング新聞社様の沿革や、会社概要についてお話をください。

和歌山リビング新聞は1979年に和歌山産経リビング新聞社として設立されました。同年に「和歌山リビング」を創刊いたしました。6年後の1985年に、和歌山産経リビング新聞社が、今の和歌山リビング新聞社に社名を変更いたしました。そして2004年に、フリーマガジン「LiSM」を発行いたしました。和歌山リビング新聞社はリビング和歌山とフリーマガジンLiSMの2つのメディアを生かした情報を定期的に和歌山の方に発行してきました。そしてこの2つのメディアで集めた情報を生かして「麺本」や「パン本」、「カレー本」、現在書店で販売中の「CAFE本」など2年に1度販売しています。非常に好評で毎回1万部程、完売している状況です。また、「リビングフェスタ」や「和歌山美活フェス」など様々なイベントも実施しております。さらに2006年には読者を対象にした文化事業をスタートさせました。それが「リビングカルチャークラブ」です。現在、フォルテワジマの4階で運営しております。約150人の講師がおり、健康、趣味、教養など約200種類の講座を展開しております。また2018年には女性の働く環境を応援するために、企業主導型の「夢いっぱい保育園」を開園しております。最近ではリビングやLiSMの取り組みをWebメディア「ロカルわかやま」を通して情報発信しております。出版事業を軸にしながら「和歌山を元気にしていこう」というところが私たちの事業であり、私たちの仕事のやりがいでもあります。現在は社員、アルバイトを含めて33名が勤務しております。

Q2. 「リビング和歌山」と「LiSM」の違いについて教えてください。

リビング和歌山は暮らしに役立つ情報を発信するメディアとして、女性がターゲットになっております。創刊から今年で44年を迎えました。44年間、読者の皆さんの声を聞きながら、またそれを紙面に反映しながら、信頼関係を築いて参りました。リビング和歌山は和歌山市・岩出市・海南市に約15万部発行しております。一軒一軒にポストイングで、約250の方が配布してくださっています。特に和歌山市においてのカバー率は約82.8%を占めており、5大紙と比較してもトップのカバー率を誇っています。

Q3. 企画、取材、編集の中で大切にされていることはありますか。

一番大切にしているのは、やはり編集企画です。編集企画を充実させる為には、情報収集が一番重要になってきます。何のためにその企画を発信するのか、読者にどういった内容を届けるのか、そしてその紙面を読んだ読者が、どのようにアクションしていけるのか、いつもみんなで考えながら企画をすることが、一番重要なポイントになってくると思います。

Q4. 女性が多く活躍されている職場環境について教えてください。

現在編集スタッフは私を含めて9名います。そのうち7人が女性の編集スタッフになります。そしてキャリア10年以上の編集者が6人います。全員地域にアンテナを張って、街のいろんな情報を集めて、取材をするという活動しております。そして取材を終えたスタッフが帰ってくると、有った出来事を「今日はこういう人と会って、こういう情報をいた

だいて、本当に楽しい取材だった」というように話します。部内はいつも和気あいあいとした、明るい雰囲気になっております。

Q5. 新聞社を目指すために必要な資質やスキルについて教えてください。

まず情報を集めるための好奇心、町に対する好奇心を常に持っているという資質のある方。また新聞を読む、小説を読む、雑誌を読む、映画を見るなど、紙メディアをはじめとした様々な情報を得ることによって、文章の流れがある程度身につくこともあるので、日頃からそういう事をしていただくと良いと思います。

Q6. CSR(企業の社会的責任)の取り組みについて教えてください。

現在2つございまして、その1つが「和歌山絵本大賞」です。子供の活字離れが言われている中で、絵本を通して子供たちに言葉の大切さを認識してもらうとともに、夢を抱いてもらう、そのきっかけにして頂きたいと毎年実施しております。2013年から2019年まで毎年行っていましたが、コロナ禍で開催することができず、2023年度は3年ぶりの実施となりました。その年に発行された絵本を10冊選んで、どの絵本が印象的だったか投票を行って、大賞を決めます。その大賞に選ばれた絵本を和歌山市内の全小学校に寄贈するという取り組みです。

もう1つ、小学校の入学シーズンに合わせて交通安全キャンペーンを展開しております。小学校1年生に向けてA6版サイズの16ページぐらいの冊子を作成し配布しています。その中に交通安全のルールやマナーを色々入れております。今年は、3434人の新1年生に配りました。

Q7. 今後の展望や計画についてお話しください。

まず今年は、10月末に情報誌「まちぐるめぐり」を発行いたします。この春からコロナ禍が開けて、コロナの影響を受けた数多くの飲食店を応援したいとLiSMでもずっと飲食店特集を展開してきたのですが、その集大成のような形で約280店舗を1冊の本にまとめた、グルメ情報誌を発行いたします。また来年はちょうどLiSMが20周年を迎えます。それに向けて今、色々な紙面企画を計画中です。さらに来年は高野熊野が世界遺産に登録されて20周年を迎えるので、それに向けての準備。また、2025年の大阪関西万博に向けて、私たちがこの和歌山エリアで何ができるか、今みんなで考えているような状況です。

Q8. どのような社員を求めているのかについてお考えを聞かせください。

まず和歌山が好きの人、そして和歌山の魅力を掘り起こす好奇心旺盛な人、さらに遊ぶことが好き、食べるのが好き、音楽を聴くことが好き、漫画を読むことが好き、友達が好き、家族が好き、そんな好きなことをいっぱい数えられる人がいいですね。